第３学年　　国　語　科

1　学習方法

使用教	教科書：　国語３年（光村図書） 補助教材：国語の学習３（明治図書）、国語便覧（浜島書店）、役立つ文法（正進社）、積み上げ（明治図書） 単元別漢字マスター３（学宝社）	持ち物	・教科書　・ノート ・ワーク　・国語便覧 ・文法　・漢字マスター ・習字道具

学習方法	学校	・　忘れ物をせず授業に参加し、進んで発表や活動をする。 ・　授業での先生の指示や説明、友達の発言をよく聞く。 ・　復習がしやすいノートを作るとともに自分の考えやポイントなどをメモする。 ・　わからないことは質問し、解決する。　・提出物は、期日を守って必ず提出する。
	家庭	・　出された宿題はその日のうちに計画を立てて確実にする。 ・　授業で習った部分のワーク類は、その日のうちに進めておく。 ・　漢字や文法の学習は繰り返し行う。 ・　習った感じた語句を用いて積極的に文章を書く。 ・　答え合わせは、急がず正確に行う。間違えた問題はくり返し解く。 ・　新しい単元に入ったら、わからない言葉の意味を辞書で調べる。 ・　読書をしたり、新聞を読んだりして、日頃から縦書きの文字を読むようにし、読むことになれる。また、多くの言葉に触れ、理解して、実際に使ってみるようにする。

2　評価について

評価観点		評価の方法
①国語への関心・意欲・態度	日本語や日本語文化に対して関心をもち、意欲的に授業や家庭学習に取り組むことができる。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ノート、ワーク、プリント等の課題への取り組み方
②話す・聞く能力	自分の感想や意見を持ち、進んで話すことができる。他人の意見、情報を正しく聞き取り、自分の考えを深めることができる。	・授業での発言内容　・班活動 ・聞き取りテスト ・スピーチ
③書く能力	筋道を立てて適切に文章を書き、効果的に構成を考え、表現することができる。	・作文、感想文、俳句などを書く力 ・ノート、課題への取り組み ・定期テスト
④読む能力	目的に応じてさまざまな文章の要点や主題を的確に読み取ることができる。	・授業での発言内容 ・ノートなどの記述状況 ・定期テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	配当漢字の読み書きができ、日本語の文法や特色を理解している。身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字が書ける。	・漢字ノート ・定期テスト　・小テスト ・書写作品

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	走れメロス 方言と共通語 小さな町のラジオ発 春に 握手 学びて時にこれを習ふ～「論語」から 社会との関わりを伝えよう～　スピーチ 熟語の読み方 月の起源を探る 俳句の可能性 俳句を味わう 推敲して、文章を整える 魅力的な紙面を作ろう	・作品を読み味わい、人間の生き方や考え方について自分の考えを持つ。 ・作者の思いをとらえ、表現の特徴を生かして朗読する。 ・登場人物の言動や行動に着目して人物像をとらえる。 ・孔子の考え方を知り、自分たちの生活と関連づけて考える。 ・内容にふさわしい文章の形態を選び、構成を工夫して書く。 ・科学的なものの見方や考え方について自分の考えを持つ。 ・筆者のものの見方や感じ方、表現を味わう。 ・自分の考えを字数制限内にまとめ、書いた文章を読み返し、文章全体を整える。
二学期	挨拶 和語・漢語・外来語 文法への扉１ 慣用句･ことわざ･故事成語 漢字の造語力 古今和歌集　仮名序 君待つと 夏草―「おくのほそ道」から 書写 文法への扉２ 故郷 「批評」の言葉をためる	・表現上の特徴を参考に、自分の考えを広げる。 ・文の成分の構成等について理解を深める。 ・表現上の工夫に注意しながら音読し、古典の世界に親しむ。 ・古文の言葉の響きや美しさ、古人のさまざまなものの見方や考え方を豊かに感じ取る。 ・語句や論理の展開に着目して主張を捉える。 ・これまでに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・全体の調和を整え、配列・配置よく書く。 ・情景、人物描写や表現に着目しながら、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。
三学期	説得力のある文章を書こう批評文を書く 古典を心の中に 作られた「物語」を超えて 話し合って提案をまとめよう 誰かの代わりに わたしを束ねないで 初恋	・論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある文章を書く。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、これからの自分の生き方について考える。 ・課題の解決に向けて話し合いが効果的に展開するように進行を工夫する。 ・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、作者の思いを理解する。 ・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、作者の思いを理解する。

第３学年　　社　会　科

１　学習方法

使用教材	教科書：　新しい社会歴史　（東京書籍） 中学社会公民的分野（日本文教出版） 補助教材：中学校社会科地図（帝国書院） 学び考える歴史（浜島書店）　社会の自主学習歴史（新学社） 新しい公民（浜島書店）　社会の自主学習公民（新学社）	持ち物	・教科書 ・地図帳 ・ワーク ・ノート ・資料集

学習方法	学校	・ノートを丁寧にしっかりととろう。→色ペン（２～３本）や色鉛筆を上手に使おう。 ・テストや授業プリントをきちんとファイリングして必要なものはノートに貼ろう。 ・教科書の大事なところや図をチェックしよう。 ・わかったことは積極的に挙手，発言しよう。 ・振り返りとして、わかったことや疑問に思ったことをノートにまとめてみよう。
	家庭	・普段から世界や日本の政治や出来事（ニュースや新聞を見てみよう）、社会的事象に関心をもち、わからない語句等があるときは資料集等を使って調べよう。ワークで繰り返し復習しよう。 ・その日の授業のポイントとなる語句，人物，出来事等を何度も口にしたり書いたりして覚えよう。

２　評価について

評価観点		評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組む。」 ○発言，作業活動の取り組み方。 ○ノートの中身やまとめ方。 ○準備や課題の内容，提出期日の厳守。	・学習活動への参加の意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
②社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ，表現できる。」 「社会的事象を多面的に考察・判断できる」 ○事実を結びつけたり予想したりして筋道を立てた発言や論述ができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容，発言の仕方 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容 ・課題内容の理解
③資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに，適切に選択し活用できる。」 ○地図，統計，図表，史料を正確に読み取ることができ，課題を追求することに必要な資料を収集し活用できる。 ○統計資料や調査結果を活用して作品をつくることができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容 ・課題への取り組み，内容の理解 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
④社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ○基本用語を理解し，正しく使うことができる。 ○社会的事象の因果関係や基本的背景を理解する事ができる。	・小テスト，定期テスト ・発言内容

※課題研究（郷土研究，新聞スクラップ，統計グラフコンクール）は①②③④に共通

３　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	【歴史的分野】 第４章「近世の日本」 第５章「開国と近代日本の歩み」 第６章「二度の世界大戦と日本」 第７章「現代の日本と世界」 【公民的分野】 第１編「私たちと現代社会」	**第４章** ・江戸時代の社会のしくみや経済の変化について考える。また、ヨーロッパ文化の伝来から外交の変遷，産業や交通の発達と町人文化など近世社会の特色を理解する。 **第５章** ・近代日本が成立していく過程をアジア諸国との関係に着目しながら考える。また、日本の近代産業や近代文化の影響で人々の生活が大きく変化したことを理解する。 **第６章** ・２回の世界大戦や国際情勢を背景に、日本の動きをアジア諸国との関係に着目しながら理解する。 **第７章** ・日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させて理解する。 **第１編** ・現代日本の特色と影響を理解する。文化の継承と創造とのかかわりに気づく。対立と合意，効率と公正といった見方や考え方で，現代社会を捉える。
二学期	第２編「私たちの生活と政治」 第１章個人の尊重と日本国憲法 第２章国民主権と日本の政治 第３編「私たちの生活と経済」	**第２編** ・政治の必要性を理解し，基本的人権・法の意義を理解する。我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていること等について理解する。 ・住民としての自治意識をもつ。また，国民の政治参加との関連について考える。 **第３編** ・生産・消費・財やサービスなど家計や企業における金融のはたらきを理解する。また、や地方公共団体が果たしている役割について考える。
三学期	第４編「私たちと国際社会」 第5編「私たちの課題」	**第４編** ・国家間・国民間相互の主権の尊重と協力を学ぶ。 ・日本国憲法の平和主義と世界平和に関わる問題について考察する。また、持続可能な社会の観点を踏まえて問題の解決に向けて考え，話し合う **第５編** ・持続可能な社会を形成するためにこれから社会参画をしていくための手掛かりを得る。

第３学年　　数　学　科

1　学習方法

使用教材	教科書：　未来へひろがる数学３ 補助教材：数学の問題ノート（新学社）、 完成問題集、関数テキスト、図形テキスト	持ち物	・教科書 ・テキスト ・ノート ・問題集２冊

学習方法	学校	・本時のめあてを確認し、教科書を中心に学習を進める。 ・自分の考えを言葉や式で表現できる力をつける。 ・問題解決の筋道や過程を大切にする。 ・復習時に問題解決の過程が分かるようにノートをとる。
	家庭	・復習として、教科書、数学の問題ノート、完成問題集の問題を繰り返し解く。 （各自で答え合わせをし、定期的に提出をする。） ・教科書の例題を中心に予習をする。

2　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①数学への関心・意欲・態度	○さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりすることができる。 ○数学的に考え表現することに関心がある。 ○意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。	・学習への意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成 ・授業の振り返りの記述内容
②数学的な見方や考え方	○数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用できる。 ○事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し、表現することができる。 ○過程を振り返って考えを深めることができる。	・定期テスト・小テスト ・課題への取り組み、内容の理解 ・授業での発言内容
③数学的な技能	○平方根を含む式の計算ができ、数量関係や法則を方程式などを用いて表現し、処理できる。 ○関数関係を的確に表現できる。 ○図形の性質について簡潔に表現できる。 ○標本を抽出したり、傾向を推察したりすることができる。	・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容
④数量や図形などについての知識・理解	○数の平方根・式の変形・二次方程式・図形の相似・円周角と中心角の関係・三平方の定理・関数 $y=ax^2$ の特徴・標本調査について、それらの必要性を理解する。 ○各単元の基礎的な考え方や原理、法則などについて意味を理解し、知識を身に付けている。	・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	・式の展開と因数分解	・単項式と多項式の乗法と除法の計算 ・簡単な式の展開や因数分解 ・文字を用いた式で数量関係をとらえ説明すること
	・平方根	・平方根の必要性と意味 ・平方根を含む式の計算 ・平方根を用いること
	・二次方程式	・二次方程式とその解の意味 ・二次方程式を解くこと（因数分解，平方完成，解の公式） ・二次方程式を活用すること
二学期	・関数 $y=ax^2$	・事象と関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ の特徴 ・関数 $y=ax^2$ を用いること
	・図形の相似	・いろいろな事象と関数 ・平面図形の相似と三角形の相似条件 ・図形の基本的な性質 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の相似比と面積比、体積比 ・相似な図形の性質を活用すること
	・円周角と中心角	・円周角と中心角の関係（証明，活用） ・円周角の定理と逆
三学期	・三平方の定理	・三平方の定理とその証明 ・三平方の定理を活用すること
	・標本調査	・標本調査の必要性と意味 ・標本調査で母集団の傾向をとらえ説明すること
	・３年間のまとめ	・３年間の学習内容の復習

第３学年　　理　科

１　学習方法

使用教材	教科書：　未来へひろがるサイエンス３・マイノート（啓林館） 補助教材：理科ノート３年　（新学社） 資料集『グローバル理科学習資料』 学習の達成３年(新学社)	持ち物	・教科書 ・理科ノート ・ファイル ・資料集 ・筆記用具
学習方法	学校	・授業を集中して聞く。先生の問いには積極的に挙手して発表する。疑問、質問がある場合は挙手して発表する。 ・黒板の板書や注意事項、授業のポイントなどをノートに書く。 ・実験や観察の手順をしっかり聞き、注意事項を守って実験や観察を行う。 ・実験や観察のレポートに結果や考察を書く。	
	家庭	・宿題が出たら、必ずその日のうちにやっておく。 ・提出物は期限どおりに提出できるように家庭で復習をしていく。 ・教科書の大事なところを何度も読み、重要用語を漢字で書けるようにする。 ・新聞やテレビなどを見て、自然現象や科学的事象に関心を持つ。	

２　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①自然事象への関心・意欲・態度	○自然事象の関心を持って、意欲的に学習できる。 ○要点を整理しながら、ノートをまとめることができる。 ○日常生活で見られる事象と関連づけることができる	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題(宿題やレポート)への取り組み、提出状況 ・ふり返りの記述 ・プリントやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト ・授業での発言
②科学的な思考・表現	○課題に対して、科学的な法則をもとに、応用して考えることができる。 ○観察・実験の結果を分析し解釈することができる。 ○考察を、文章などで表現することができる。	・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
③観察・実験の技能	○積極的に実験・観察に取り組み、正しい実験操作ができる。 ○実験・観察の結果を記録し、レポートを作成できる。	・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
④自然事象についての知識・理解	○自然事象のしくみや法則について理解できる。 ○自然事象について、日常生活と関連づけて説明できる。	・授業での発言 ・定期・単元および小テスト

３　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	**電流の性質とその利用** １章　電流の性質 ２章　電流の正体 ３章　電流と磁界 **生命の連続性** **１章　生物の成長とふえ方** **２章　遺伝の規則性と遺伝子** **化学変化とイオン** １章　水溶液とイオン ２章　酸・アルカリと塩	・回路の基本的な性質、電流と電圧の関係について規則性を見いだす。 ・静電気や真空放電の実験から、電流の正体について理解できる。 ・電流がつくる磁界の規則性を見出し、電流が磁界から受ける力を調べることができる。 ・電磁誘導や発電機の実験を通して、直流と交流の違いを理解できる。 ・生物の成長や生殖を細胞のレベルで捉え，関係について理解できる。 ・無性生殖，有性生殖での遺伝子の伝わり方を，それぞれ理解することができる。 ・メンデルの行った実験の過程と結果から，有性生殖の形質の伝わり方について説明できる。 ・水溶液に電流を流す実験を行い，水溶液により流れる・流れないものがあることを見いだす。 ・電気分解の実験により，イオンの存在を知る。また，イオンの生成と原子の成り立ちの関連性を知る。 ・電池の実験により，化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解できる。 ・酸とアルカリが，水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。 ・中和反応の実験を行い，酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解できる。
二学期	**運動とエネルギー** １章　力のつり合い ２章　物体の運動 ３章 仕事とエネルギー ４章 多様なエネルギーとその移り変わり ５章　エネルギー資源とその利用 **宇宙の中の地球** １章　地球とその外側の世界 ２章　太陽と恒星の動き ３章　月と金星の動きと見え方	・実験により２力がつり合うときの条件を見いだす。また，力の合成分解の実験から，規則性を理解する。 ・実験より，運動には速さと向きがあることを知る。 ・実験より，力が働く運動と働かない運動の，時間と速さの関係を見出し説明できる。 ・仕事と仕事率について理解できる。 ・力学的エネルギー保存について説明できる。・日常生活や社会では，様々なエネルギー変換を利用していることを理解する。 ・エネルギーの有効利用が大切であることを認識する。 ・天体の日周運動の観察を行い，地球の自転と関連付けて捉えることができる。 ・星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い，地球の公転や地軸の傾きと関連付けて捉えることができる。 ・太陽や月の観察より，太陽の特徴や，月の公転と見え方を説明することができる。 ・観測資料を基に，惑星と恒星などの特徴を理解し，惑星の見え方を太陽系の構造と関連付けて捉え説明できる。
三学期	**自然と人間** １章　自然界のつり合い ２章　人間と環境 ３章　自然が人間の生活におよぼす影響 ４章　科学技術と人間 ５章　科学技術の利用と環境保全 **３年間の復習**	・自然環境を調べ，自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解できる。 ・自然と人間との関わり方について認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することができる。

第３学年　　音　楽　科

1　学習方法

使用教材	教科書：中学校の音楽２、３の下（教育芸術社） 中学校の器楽（教育芸術社） 補助教材：マイソング（教育芸術社）	持ち物	・教科書 ・ファイル

学習方法	学校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ○自分の感性に従い、様々な方法で自分を表現していく。 ○音楽を通して仲間の価値観や考え方を共有し合い、自分の表現につなげる。 ○楽譜の書きこみや、調べ学習は、自分でしっかりとやっていく。
	家庭	○生活の中にある音を意識したり、様々な音楽に触れて音楽性を伸ばし、感性を育てる。 ○普段何気なく行っている呼吸について、腹式呼吸を意識して生活してみる。 ○授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておく。

2　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①音楽への関心・意欲・態度	○忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 ○演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 ○教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようと努力している。	準備物の状況 毎回の授業の態度・姿勢 実技テスト（歌唱） 定期テスト
②音楽表現の創意工夫	○音楽記号等を理解し、歌唱の際の声の質、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 ○歌唱の際に歌詞の内容を表現できている。 ○ブレスの仕方が音楽的である。 ○他の声部を意識して歌ったり、演奏している。	歌唱の際の声の大きさ・質（響き）、発声の様子、発音の工夫、毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏においてのフレーズのとらえ方やブレスの仕方、実技テスト（歌唱） 定期テスト
③音楽表現の技能	○基本的事項を守りながら、自分なりに表現しようとしていたか。 ○歌唱の際の音程が正確である。 ○アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に生かせている。（音楽記号、標語の理解）	実技テスト（歌唱） 教科書（楽譜）への書き込み パート練習
④鑑賞の能力	○範唱や範奏や仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 ○鑑賞曲を聴き、作曲者の意図心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができる。 ○楽曲の雰囲気を感じ取れている。 ○楽曲の背景（作曲者、楽曲等）の知識理解。	鑑賞中の態度 鑑賞プリント 定期テスト

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	「校歌」 「大切なもの」 「夢の世界を」 「君に会えたことに」 「花」 舞台芸術① 「アイーダ」（鑑賞） 和楽器の取り組み 実技テスト 期末テスト 合唱コンクールの取り組み	オリエンテーション ・呼吸法・発声法の確認 ・表情豊かにのびやかな歌声で歌う。 ・歌詞の意味を理解して歌う。 ・混成三部合唱の発展 ・楽曲構成、調性、表現について学ぶ ・滝廉太朗について学ぶ。 ・日本語の美しさについて学ぶ。 ・日本歌曲の魅力について学ぶ ・ロマン派の音楽の特徴について学ぶ ・オペラの魅力について学ぶ。 ・表現法について学ぶ。 日本の伝統音楽、和楽器に触れる。 ・歌唱テスト ・定期テスト ・合唱コンクールの選曲
二学期	合唱コンクールの取り組み 「心の瞳」（混三） 舞台芸術② 「白鳥の湖」（鑑賞） 実技テスト 期末テスト	・各クラスでの取り組み ・混声三部合唱の表現法 ・歌詞と音楽の関係について学ぶ。 ・バレエの魅力について学ぶ ・総合芸術について学ぶ ・歌唱テスト ・定期テスト
三学期	卒業テスト 卒業式の式歌の取り組み 「春風の中で」	・定期テスト ・３年間の思いを込めて、しっかりとかみしめて歌う。

第　3　学年　　美　術　科

1　学習方法

使用教材	教科書：美術 2･3 上　生活の中に生きる美術、美術 2.3 下 社会に広がる美術（日本文教出版） 補助教材：美術資料（浜島書店）	持ち物	・教科書・資料集 ・ファイル ・スケッチボックス ・鉛筆　　他

学習方法	学校	・授業の準備をして、チャイム着席の徹底。必要なもの忘れず準備する。 ・道具の正しい使い方を理解して、あきらめずに最後までていねいに制作を進める。 ・わからないことは先生にアドバイスを求める。 ・作品の制作過程でアイデアスケッチの時間があるので、アイデアをしっかり練るのが好評価のポイントです。空いた時間を利用して少しずつ練るようにしましょう。
	家庭	・普段からものをよく見ること。(見ることから美術は始まります) ・日常生活の中の美術の役割を意識してみる。 ・社会の動きや暮らしの中に表現活動の主題を見つける。 ・自然や美術作品などに興味ある作家や作品を見つける。 ・授業で出された課題は、決められた期日までに必ずする。授業に必要な材料や道具を準備する。

2　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①美術への関心・意欲・態度	○楽しく生き生きと表現しようとしている。 ○向上しようと創意工夫をし努力しようとしている。 ○鑑賞することを楽しんでいる。	・自分から積極的に学習にとりくもうとしている。 ・粘り強く最後までとりくむことができる。 ・準備物や用具の取り扱い、片づけができる。
②発想や構想の能力	○「感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩などの構成などを工夫し、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ○自分らしく生き生きとして構想を練っている。	・自分のイメージを様々な角度から考えることができる。 ・イメージしたものを表現することができる。
③創造的な技能	○「表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせて自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現することができる」 ○楽しく創造的に表現している。	・表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。 ・最後まで丁寧に仕上げることができる。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。
④鑑賞の能力	○「感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりできる」 ・いろいろな見方や感じ方、発想のしかた、知識等を学び、多様な表現の工夫や美しさなどを感じ取り味わっている。	・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。 ・作者の思いや意図を感じることができる。 ・自分の作品を鑑賞し評価することができる。

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	「美術」についてオリエンテーション ・授業に対する心構えと授業のルール ［鑑賞］「クロスメディアアート」 ・「ベンシャーン」「ピカソ」等の作品を通じて社会へのメッセージ(平和学習) ［心の自画像「十五の瞬間」］ ・自分との対話	・〈規律ある態度・約束や規律を守る〉 ・生活の中での美術とのかかわり、造形作品の役割や意義について理解を深める。 ・鉛筆画、モダンテクニック、絵の具などテーマに応じた材料を選び表現する。 ・鉛筆が基本的な表現を学び、効果的に組み合わせて描く。 ・立体感のある構成ができる。 ・造形感覚、感性や創造的な技能を働かせ、材料や道具を効果的に使用できる。 ・表現意図に合う表現方法を創意工夫し、最後まで丁寧に、美しく表現できる。
二学期	［作品鑑賞］ ［鑑賞］「パブリックアート」 ・街の中に息づくアート ［鑑賞］「日本の美」 ・ジャポニズムと印象派	・作者の制作意図や創造的な表現の工夫などを感じ取り、作品に対する自分の価値意識を持って評価できる。 ・表現の工夫，よさや美しさなどを感じとる。 ・グローバルデザインを学び、伝達するデザインを考える。 ・作品を鑑賞し、時代背景を理解し作者が伝えたかったことを想像する。 ・日本の美術の発展とヨーロッパ印象主義にもたらした影響について知る
三学期	［水墨画］ ・日本の伝統文化を味わい、基本的な技法を用いて表現する ［作品鑑賞］	・日本の伝統文化を継承しつつ自分らしく表現する。 ・墨の濃淡の美しさを活かして表現する。 ・筆使いを理解して、表現する。 ・作者の制作意図や創造的な表現の工夫などを感じ取り、作品に対する自分の価値意識を持って評価できる。

第　3　学年　　保健体育科

1　学習方法

使用教材	教科書：保健体育（大修館） 補助教材：　中学体育実技（学研）	持ち物	・体操服 ・ジャージ ・ファイル （学校で用意）
学習方法	学校	・体操服を忘れないようにする。（原則として見学時も体操服に着がえる） ・種目のルールや安全に気をつける。 ・仲間と協力する。 ・どの種目にも積極的に取り組む。（準備や片づけ等も積極的に取り組む）	
	家庭	・時間を見つけて身体を動かす。（ストレッチ・筋トレ・ジョギングなど） ・授業で身につけた知識や身のこなしを日常生活に生かす。	

2　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	○体育の授業に積極的に取り組むことができる。 ○服装・頭髪・つめなど安全に活動できる態度でのぞむことができる。 ○準備･片付けを積極的に取り組むことができる。 ○苦手な種目に対しても積極的に取り組むことができる。 ○仲間に対して言葉がけができる。	・欠席・遅刻・見学日数 ・服装・頭髪等の参加態度 ・体操服・準備物の忘れ物 ・授業中の様子観察 （準備･後片付け、集合・整列の態度、その他授業態度）
②運動や健康・安全についての思考・判断	○正しいルールや動きを知り、そのルールや動きを意識できる。 ○施設や用具の安全を常に確認することができる。 ○個人やチームの課題をみつけ、目標達成のために練習や課題（作戦）を工夫することができる。 ○集団の中でどのように動いたらいいか考えることができる。 ○学んだことを振り返ることができる。	・授業中の技能テスト ・種目の記録 ・期末テスト ・プリント（ファイル）の内容 ・授業中の様子観察 （ゲーム・練習の様子など）
③運動の技能	○正しい技能を身につけ、設定した目標を達成することができる。 ○もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 ○練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めることができる。	・授業中の技能テスト ・種目の記録 ・授業中の様子観察 （ゲーム・練習の様子など）
④運動や健康・安全についての知識・理解	○健康･安全について理解できる。 ○ルールや技能のしくみについて理解できる。	・期末テスト ・プリント（ファイル）の内容 ・授業中の様子観察 （ゲーム・練習の様子など）

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	・体育理論 ・からだつくり ・集団行動、ラジオ体操 ・新体力テスト ・球技：ネット型 （バレーボール・ソフトテニス） ・陸上競技（ハードル走） ・水泳 ・保健	・文化としてのスポーツの意義。 ・運動を通して、体の状態や身のこなしを整える。 ・集団行動での基本的な行動の仕方。 ・持久力・柔軟性・筋力等の測定をする。 ・パス、レシーブ、アタックなどを使いゲームを行う。 ・テンポよくハードル間を駆け抜ける。 ・無理のない一定のスピードで、続けて長く泳ぐ。 ・感染症・性感性症と予防。 ・ともに健康に生きる社会。
二学期	・体育祭練習 ・球技：ベースボール型 （ソフトボール） ・球技：ゴール型 （バスケットボール・サッカー ・ハンドボール） ・持久走 ・保健	・正確な捕球と守備位置に関してのチームプレーを身につける。作戦を立て協力して攻撃で点を取る。 ・仲間と協力し、作戦を立てゲームを行う。 ・長い距離を自分に適したペースで走り通す。 ・文化としてのスポーツ。
三学期	・球技：ネット型 （卓球・バドミントン）	・ラケットやボール･ピンポン玉の操作に慣れ、ラリーを続ける。

第３学年　　技　術　科

1　学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭　技術分野（東京書籍） 補助教材：	持ち物	・教科書 ・ノート
学習方法	学校	・実習中心になるため，指示をよく聞きましょう。 ・安全第一を心掛けて実習に取り組みましょう。	
	家庭	・社会におけるメディアの発信，表現に目を向けておきましょう。 ・授業後に教科書の対応するページをよく読んでおこう。 ・宿題は丁寧にこなし，期限内に提出しましょう。	

2　評価について

評価観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○ものづくりやマルチメディア作品の製作に興味がある。 ○学んだ技術や知識を生かして積極的かつ安全に作業を行っている。	・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
②生活を工夫し創造する能力	○生活と技術・情報との関わりに関する課題を見つられる。 ○ものづくりや情報に関する技術を適切に活用しようとする。	・定期テスト ・作品 ・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
③生活の技能	○ものづくりやマルチメディアについて、基礎的な技術を身につけ、正確安全に技術を発揮することができる。	・定期テスト ・実技テスト ・活動や作品の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
④生活や技術についての知識・理解	○生活や社会の中での技術や情報の役割について理解している。 ○ものづくりやマルチメディアの活用に必要な基礎的な知識を身につけている。	・定期テスト ・ワークシート ・提出物や宿題の内容

3　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	マルチメディアの活用	・ディジタル作品の構成を調べる ・ディジタル作品の設計・制作 ・多様なメディアの複合，表現や発信をする ・メディアの特徴と利用方法についての知識を身につける
二学期	製作品の設計・製作 エネルギー変換の利用	・材料の特徴と加工方法・設計・部品の加工 ・組み立てと仕上げ・工作機械・電気機器の保守と安全・エネルギー変換の利用と評価 ・製作図をかき，部品を加工し，組み立て及び仕上げをする
三学期	ものづくりと社会	・持続可能な社会のための技術について考える ・ものづくりに関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解する

第３学年　　家　庭　科

１　学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭　家庭分野（東京書籍） 補助教材：学習ノート家庭分野　わたしたちの消費生活と環境，私たちの成長と家族・地域(東京書籍)	持ち物	・教科書 ・学習ノート家庭分野

学習方法	学校	・授業に必要なものを準備する。 ・積極的に挙手をして、授業に参加する。 ・先生の話や友達の意見を聞いて、ノートやプリントの記入をする。 ・幼稚園訪問時は指示をよく聞き、園児と楽しく安全にふれ合う。 ・ノート、プリント、宿題、作品は期限を守って提出する。
	家庭	・自分の幼児の頃の写真を見たり、幼児のころを知っている人に話を聞いて、成長してきた道すじを振り返る。 ・幼児を見かけたり、ふれ合う機会を見つけたりして、積極的に幼児と関わる。 ・学習したことをもとに、消費者トラブルに巻き込まれないように考えて商品を購入しましょう。

２　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	・活動への参加の仕方や態度 ・課題への取り組み ・提出物・授業への準備
②生活を工夫し創造する能力	○生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。	・授業での工夫 ・提出物
③生活の技能	○生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	・実習での様子 ・技能テストの様子
④生活や技術についての知識・理解	○生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	・定期テスト

３　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
通年	・わたしたちの消費生活と環境 ①私たちの消費生活 ②消費者としての自覚を持とう ③商品の選択と購入について考えよう ④消費者の権利と責任を知ろう ⑤消費者トラブルを解決する方法を知ろう ⑥よりよい消費生活を目指して	・自分や家族の消費生活を振り返り、課題を見つけることができる。 ・いろいろな販売方法の種類や特徴をまとめることができる。 ・消費者の権利と責任について理解できる。 ・自分や家族にとって身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を知る。 ・消費者としての自覚を高めよりよい消費者について考えることができる。
	・わたしたちの成長と家族・地域 ①家庭と家族関係 ②幼児の生活と家族 ・幼いころを振り返ろう ・幼児の心身の発達と生活を考えよう ・幼児の生活と遊びを知ろう ・幼児と触れ合おう ・子どもにとっての家族を考えよう ・伝承遊び	・家庭や家族の基本的機能について知る。 ・幼児とのふれ合いについて、自分の課題を設定できる。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫してふれ合うことができる。 ・幼児の成長、発達を支える家族の役割について理解できる。 ・幼児の成長を支援する社会施設や、子どもを守る条約や法律などについて理解できる。

第３学年　　英　語　科

１　学習方法

使用教材	教科書：　NEW CROWN ENGLISH SERIES 3　（三省堂） 補助教材：・フレンドノート　前期・後期（正進社） ・ニュースリピートワーク３（教育同人社） ・語順ドリル（正進社）	持ち物	・教科書 ・ファイル ・フレンドノート ・英語ノート ・ワーク２冊
学習方法	学校	・忘れ物をせず、授業に意欲的に参加しましょう。 ・間違いを恐れず、たくさん英語で話したり書いたりしましょう。 ・積極的に大きな声で音読しましょう。	
	家庭	・教科書の新出単語や、本文をノートにまとめましょう。 ・学習したことは、繰り返し読み、書いて覚えましょう。 ・教科書本文を暗唱できるまで音読しましょう。 ・ワークなどを使い、練習問題にも慣れておきましょう。	

２　評価について

評　価　観　点		評　価　の　方　法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	意欲を持って授業に取り組み、挙手発言や、ペアまたはグループ等での言語活動に参加できる。	・授業における態度・挙手・発言 ・宿題・言語活動への参加の仕方や態度 ・ノート・プリント・ワークの内容
②外国語表現の能力	**【話すこと】** 学んだモデル文を参考に、場面に合わせて、話したり、聞いたりできる。その際には、相手の目を見て、会話ができる。 **【書くこと】** 学んだモデル文を参考に、場面に合わせて書くことができる。	・授業中の発言の内容 ・パフォーマンステスト ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
③外国語理解の能力	**【聞くこと】** 身近な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 **【読むこと】** 身近な話題について、必要な情報を読みとることができる。	・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
④言語・文化についての知識・理解	**【言語】** 学習した文法事項、場面や状況にふさわしい表現を身につけている。 **【文化】** 各国の文化や風習・習慣などの違いについて理解できる。	・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み

３　主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	Project 3 Let’s Read 2 Landmines and Aki Ra Lesson 1 My Favorite Words Lesson 2 France-Then and Now Lesson 3 Rakugo Goes Overseas Project 1 先生にインタビューをしよう Lesson4 The Story of Sadako	・自分の町についてメールを書く。 ・カンボジアのアキ・ラーさんの伝記を読み、理解する。 ・受け身形を理解し、使うことができる(復習)。 ・ことばの持つ力について関心を高める。 ・make+A+B や It is～(for A) to…の文を理解し、使うことができる。 ・現在完了形(継続用法)を理解し、使うことができる。 ・フランスと日本の文化交流について考えることができる。 ・現在完了形(経験用法・完了用法)を理解し、使うことができる。 ・日本の伝統文化を世界に発信することに関心を高める。 ・インタビューをして先生のプロフィール表を作ることができる。 ・広島の原爆にまつわる事実を知り、平和について考えることができる。
二学期	Let’s Read 1 Dolphin Tale Lesson 5 Places to go,　Things to do Lesson 6 I Have a Dream Project 2 日本文化を紹介しよう	・けがをして泳げなくなった子イルカと少年の物語を読み、理解することができる。 ・関係代名詞(主格,目的格)を理解し、使うことができる。 ・ブラジルについてのスピーチ原稿を読み、世界の様々な地域について考えることができる。 ・後置修飾を理解し、使うことができる。 ・アメリカの公民権運動について知り、人権の大切さを考える。 ・絵や写真を見せながら、日本文化を Show&Tell で紹介することができる。
三学期	Lesson 7 English for Me Project 3 ディスカッションをしよう Let’s Read 2 We Can Change Our World Let’s Read 3 The Story of Nishikori Kei 三年間の総復習	・want+A+to～や間接疑問を理解し、使うことができる。 ・英語を学ぶことの意義について考える。 ・大都市での生活と大都市から離れた地域での生活について考え、意見を言うことができる。 ・風力発電に成功したマラウイの少年の伝記を読んで、創意工夫・社会貢献について考えることができる。 ・プロテニスプレーヤー錦織圭選手の伝記を理解することができる。 ・三年間に学習した英語を用いて自己表現ができる。